

コンクリート製品製造技能実習評価試験

「実技試験の流れ」（ビデオ）の補足説明

このビデオ映像は、「コンクリート製品製造」職種の技能実習評価試験の実技試験の参考となるよう、評価試験と同様な型枠を使用した際の標準的な作業についてまとめたものです。

初級試験は、作業工程が成形準備とコンクリート製家の2つですが、専門級、上級は更に脱型及び仕上げ（手直し）が加わり、更の専門級と上級では、鉄筋や手直しの違いがあります。詳細は、当協会のHPからもリンクを貼っていますが、厚生労働省HPに掲載されている、職種別の審査基準又は試験基準をご参照ください。

ただし、このビデオの元となった映像の撮影時点、受検者数などの相違によって、実際の評価試験（の初級試験）の条件とは異なる点がありますので、ご注意ください。

（相違点）

- ① 機工具について、こての寸法など、仕様が異なる
- ② 安全衛生について、保護メガネ着用が必要（離型剤（剥離剤）塗布、フレッシュコンクリート）
- ③ 初級のビデオで、（よく見ると鉄筋が入っているのが分かるが）、初級は無筋で行う。
- ④ 初級のビデオで、評価試験用型枠は、脚部分がもう少し高い（それ以外はほぼ同じ）
- ⑤ 受検者数が増えると、異なる点
 - （ア）隣の受検者との間に仕切り（パーティション）がある
 - （イ）ゼッケン着用

（備考）

コンクリート製品製造は、コンクリートを固める前の準備、未だ固まらないコンクリートの扱い、脱型強度程度に固まった場合の扱いなど、コンクリートを使う上での共通部分も多い一方で、他所多様な製品、複数の製造工程が組み合わさり、作業によって要求される点も様々です。このため、本職種においては、コンクリート製品製造を行う事業所であれば実施されている製造工程の基本的な業務をもって必須業務とし、現地に戻った場合にも困らないよう、等級が上がるに従い技能の範囲・難易度を広げて体系的な技能の取得ができるように構成しています。

したがって、評価試験についても一般的な状況での技能習得を評価できる内容となるよう配慮しております。

しかしながら、技能実習の現場で実際に作業されている製品等と、この評価試験で扱う製品等の相違から、作業条件は異なると考えますので、この評価試験における作業において標準的な情報を公表するものです。